

暮らしの中の防災

～日常の中から防災力向上に貢献するパイオニア企業～

災害はいつ誰の身に降りかかるかわかりません。
日々の暮らしに無理なく溶け込み、もしもの時に役立つ
「暮らしの中の防災」。
先進的な取組を行うパイオニア企業のトップから、
企業として防災に関わる意義や
将来展望をお聞きます。



- 日常で使えるものが
もしもの時に役立つ
- 遊びや体験を通して
楽しく防災を学ぶ
- 自然と向き合う力が
災害対応力につながる
- 企業×地域の連携で
防災力を高める

日時

10月17日(土) 12:30～14:00

会場

エースバック未来中心 小ホール (約300席)
鳥取県倉吉市駄経寺町 212-5

**入場無料
事前申込不要**

どなたでも
ご参加いただけます

プログラム

12:30～12:35
登壇者ご紹介 (5分)

12:35～13:10
【基調講演1】(35分)
株式会社良品計画
清水 智 様

13:10～14:00
【基調講演2】(50分)
株式会社モンベル
辰野 勇 様

基調講演登壇者

基調講演1

株式会社 良品計画

代表取締役社長

清水 智 様

無印良品



日常使いの中で防災力を高めていく商品開発や、無印良品の店舗を拠点に、子どもから大人まで楽しく防災を学ぶことができるイベント「いつものもしもCARAVAN」等を通じて、もしもの時の防災・対応力向上に貢献されています。

<経歴> 1996年良品計画入社。2011年6月「無印良品 有楽町」店长、2015年5月取締役販売部長、2017年8月同社商品本部長、2021年9月同社専務取締役中国大陸事業部長(兼)中国大陸事業、台湾事業、香港事業官掌。2024年11月より同社代表取締役社長(現任)。

基調講演2

株式会社 モンベル

代表取締役会長兼CEO

辰野 勇 様

mont-bell



「自然災害への対応力」を社のミッションの一つとして、製品開発や社会貢献に取り組まれ、被災地での復興支援や防災用品の寄贈などを通じて、もしもの時の防災・対応力向上に貢献されています。

<経歴> 1947年大阪府堺市に生まれる。少年時代、ハインリッヒ・ハラーのアイガー北壁登攀記「白い蜘蛛」に感銘を受け、以来山一筋の青春を過ごす。2011年に発生した東日本大震災では、阪神淡路大震災以来の「アウトドア義援隊」を組織し、アウトドアでの経験をいかした災害支援活動を自ら被災地で陣頭指揮する。

こんなお話が聞けます

【良品計画 清水様】

- 良品計画が提唱する
防災の考え方
「いつものもしも」について



【モンベル 辰野様】

- 7つのミッションと理念
- 企業として防災に関わる
意義

【問合せ先】

鳥取県総合統括課ぼうさいこくたい等推進室

(電話) 0857-26-7498

(ファクシミリ) 0857-26-8111

(電子メール) sougoutoukatsu@pref.tottori.lg.jp

手話通訳・要約筆記
をご準備しています



共に考え・備え・守る
～「支え愛」で守る命と暮らし～